

奥秩父：雲取山

- ◆日程 2022年3月5日(土)～6日(日)
- ◆メンバー L：SD、OT、KS、DT

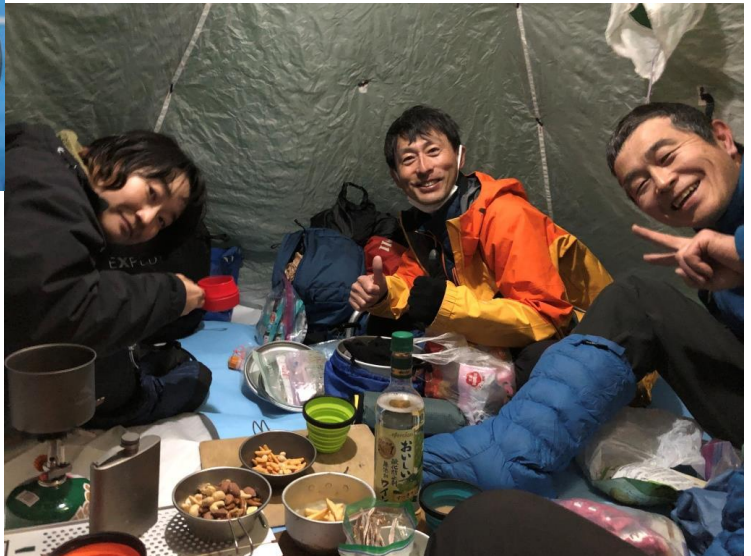
当初は常念岳東尾根を予定していたが、天候が大荒れで風速20m超の予報だったため計画を断念。代替案として天候が安定していそうな雲取山をチョイスした。雪が多く残っていてメンバーの多くが登ったことのない三峯コースを入り、三条の湯で汗を流して下山する計画とした。

3月5日(土) 天候：晴れ

6時50分池袋発西部特急ラビューに乗り込み、西武秩父駅からバスに揺られること1時間超、10時前に三峯神社へ到着。アイゼンは付けず入山したが、凍結斜面が続いたため早々に装着した。鴨沢のひたすら登りが続くルートとは異なり、三峯コースは入山地点の標高は高いがアップダウンが続くルート。斜面の方角によって落葉ふかふか、凍結、雪面等、季節が異なるような状態が交互に現れる。こまめに休憩を入れ、ほぼコースタイムどおりで雲取山荘に到着。テントは既に10張程で、雪が整地されている箇所は残っていなかった。目ぼしき箇所を全員で掘り始めたものの5-6人エスペースが張れる広さを確保できず、最終的に小屋から少し離れた平らな箇所を発見、日の入りの18時前にテント設営完了。

コロナ以降ようやく共同テントの利用が再開されたとのことで、共同テントでの夜はとても楽しかった。OTシェフの乾燥食材とスパイスを用いたこだわりカレーは非常にレベルが高く、みなさんからお聞きする山での体験等すべて新参者の私には新鮮な時間だった。

CT：三峯神社バス停 9:50/10:16 - 霧藻ヶ峰 12:08/12:18 - 白岩山 14:48/15:06
-雲取山荘 16:42



3月6日(日) 天候：晴れ

翌朝は4時半起床、6時半出発。この日も雲はほとんどなく美しい朝日を拝むことができ、雲取山頂では360度の美しい景色を満喫できた。雲取山荘で隣同士にソロテントを張っていたカップル未満らしき若い男女と山頂ですれ違う。どういったステータスの関係なのかメンバー全員の想像力が働き、勝手な妄想を共有しながら三条の湯を目指して下山を開始した。山頂から三条ダルミまでの下りはほぼ凍結斜面。三条の湯手前のトラバースでは一部崩落箇所があり、SDリーダーの足運びを参考にして慎重に足をすすめた。三条の湯で日帰り入浴をさせていただき、さっぱりしたら林道をひたすら歩いてお祭バス停に到着。三条の湯で出会ったパーティーの1人が捻挫をし、登頂断念で下山判断をしたようだった。エマージェンシーキットに入れてただけで安心している三角巾やテーピングを、緊急時に正しく利用できるよう勉強しておかなければならないと実感した。そういった講習会にも機会があれば今後参加したいと思う。

雲取山は今回で4回目だったが、入山・下山コースと季節が違うことで全く別の山のように感じられて新鮮であった。一方でやはり人気の鴨沢コースが雲取山の魅力が一番に感じられるのだろうと個人的に感じた。

CT：雲取山荘 6:35 - 雲取山 7:08 - 雲取山避難小屋 7:18/7:38 - 三条ダルミ
8:05 - 三条の湯 10:50/12:10 - 後山林 道終点 12:41 - 塩沢橋 13:55
- お祭バス停 15:18 (記：DT)

